

2014～2015年度 地区米山奨学セミナー 報告

米山奨学委員会 委員 **鹿浦英毅**
(大阪北RC)

日時：2014年9月6日(土) 13:00～15:10

場所：OMMビル 1-4号室

参加者：ガバナー 泉博朗、パストガバナー 近藤雅臣、岩田宙造、大谷透、高島凱夫、福家宏、
ガバナーエレクト 立野純三、ロータリー米山記念奨学会事務局長 岩邊俊久、
米山カウンセラー代表 家高健志(枚方RC)、1999～2003年 第5代 関西米山学友会会長 杉本麗華、
米山奨学委員会 委員長 近藤菜穂子(大阪ネクスト)、
副委員長 福田治夫(守口イブニングRC)、田中隆弥(池田くれはRC)、
古城紀雄(千里RC)、
委員 島井宏子(大阪北梅田RC)、堀田修平(枚方RC)、
岡部倫正(大阪城南RC)、吉馴茂子(大阪アーバンRC)、
西谷雅之(大阪城南RC)、鹿浦英毅(大阪北RC)、
石井博章(吹田RC)、他、
地区関係者・クラブ会長、会長エレクト 他、合計196名

セミナー開催に際し、泉ガバナーのご挨拶と岩田米山奨学部門顧問のご挨拶を頂きました。

続いて近藤地区米山奨学委員長から「当地区の昨年度の寄付金額が前年比約1000万円増額しました。本年度の委員会の活動方針として、『将来、母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀学生を奨学する事』を目的としています。また、事業の財源は、全てロータリアンの寄付金で運営されています。将来は、その財源を更に大きくして、全クラブへ奨学生を紹介できるようにと委員会の目標をもっております。しかしまずは、受け入れをご希望されているクラブへご紹介できるように一人当たり3万円の寄付金目標でお願いしたいと思います。」とのお話があり、『委員会の重点項目として ①推薦大学制度の充実、②奨学生の質的向上、③学友会の活性化』、そして『米山奨学生の特徴と現状説明(国別など)』、『米山奨学生の学生像』、『世話クラブ&カウンセラーへのお願い』、『世話クラブカウンセラーからのアンケート』、『奨学生の心得』、『学友会について』などの詳細な説明を受け、最後に奨学生の支援・交流を通して国を超えた信頼関係を築き、世界平和を願う『心』を育てるという米山奨学事業に更なるご理解とご協力をお願いします。」と述べられました。

その後、米山奨学事業についてのDVD鑑賞、そして杉本第五代関西米山学友会会長から『米山奨学会で学んだこと』として、このセミナーで奨学生時代の感想と学友会会長としての経験について感動的なスピーチを頂き、家高米山カウンセラー(枚方RC)から『はじめての米山奨学生を担当して』のタイトルで、初めての経験や、吃驚したことや、知ったことを興味深くお話して頂きました。

続いて、古城地区米山奨学副委員長から本日のセミナーの中心であります『米山奨学事業について深く学ぶ』と題して『①日本のロータリー運動と米山奨学事業、②奨学生とロータリアンの一年、③奨学生はどのように選考されているか、④寄付額と地区への奨学生配置数、⑤寄付金(使われ方、前年度、今年度、税制上の優遇配置)、⑥母国でそして日本で活躍する元奨学生：米山学友たち』について、より深くより詳細にご説明頂きました。

質疑応答では、

Q) 近藤地区米山奨学委員長：「当地区の寄付金額は前年度よりかなり増額しました。にも関わらず奨学生を当地区の受入希望45クラブ全部に送れない状況であります。それでは、年度の一人当たりの寄付金がいくらあれば満たせるのか?また、奨学生一人に対してどのくらいの金額が年間かかるのでしょうか?」

A) 岩邊米山記念奨学会事務局長：「変動数字もありますが、奨学生の一人あたりに係る金額は、奨学金と地区への補助金を入れて約155万円かかります。」(豆辞典参照)

Q) 参加会員：「会員数が減っているにもかかわらず、45クラブが奨学生を受入することを希望するからといって、全会員一人当りの寄付金を3万円に増やしたりするのですか？ また、当地区だけが3万円の寄付にするよりは、1万5千円の全国平均寄付金額を増やすべきではないでしょうか？」

A) 岩邊米山記念奨学会事務局長：「普通寄付・特別寄付を増やす方を今後も考えて総額を上げ

ていきたい。」西谷前地区米山奨学委委員長：「昨年度の月信にもご説明させていただいておりますが、会員数の減少比率以上に寄付金額の減少が多かった理由もあり、また、大学の数が他地区に比べて非常に多く、各クラブに奨学生を送ることのできる地区として、地区委員会の目標が「全クラブへ奨学生を紹介できるように」ということでした。しかしまず、奨学生を希望するクラブにだけでも送れるようにしたいため、鋭意3万円をお願いした次第です。」

最後に福家パストガバナーのご講評と閉会のご挨拶をもって充実したセミナーを終了致しました。

